

地球ディスプレイ「ジオ・コスモス」とのコラボレーションによるビョークのパフォーマンス
「Making of Björk Digital -公開収録&トーク」緊急開催決定！
世界初、リアルタイム360° VRストリーミング配信も

日本科学未来館(略称:未来館)にて、2016年6月28日(火)に「Making of Björk Digital -公開収録&トーク」(主催: Björk Digital Tokyo Project)が開催されます。

音楽のみならず映像や最新科学技術などを駆使し、常に革新的な世界観を追求し続けているマルチアーティスト・ビョーク。本イベントは、ビョークによるパフォーマンスの公開収録と、日本で初めて開催されるスペシャルトークショーです。パフォーマンスの様子は、世界で初めて360° VR映像でライブストリーミング配信されます。

本イベントは、2013年に未来館で開催した「Biophilia Tokyo」から始まる未来館とビョークとの交流により実現。常設展示「ジオ・プリズム」(※1)でも用いられたマルチカメラなどによる演出技術や、有機ELパネルによる高解像度4K映像をリアルタイム出力できる球形の地球ディスプレイ「ジオ・コスモス」(※2)とのコラボレーションによるパフォーマンスはテクノロジーと音楽体験の融合の可能性を追求するまたとない実験の場となるでしょう。

※本イベントは、VR展示プロジェクト「Björk Digital — 音楽のVR・18日間の実験」(主催:スマッシュコーポレーション、共催:日本科学未来館、p.4参照)の公開に先立ち開催されます。

【 概 要 】

- タ イ ト ル** 「Making of Björk Digital -公開収録&トーク」
開 催 日 時 2016年6月28日(火)20:00~22:00 (19:30 開場)
タイムテーブル 20:00- ビョークによるパフォーマンス(収録後、休憩)
 21:00- スペシャルトークショー(22:00 終了を予定)
チケッ ト 料 金 3階着席 10,000円 / 3階立席 7,000円 / 5階立席 7,000円
チケッ ト 販 売 6月24日(金)10:00~ チケットぴあにて発売
販 売 U R L <http://w.pia.jp/t/bjork-t/>
 0570-02-9999 / Pコード: 303-739
 ※客席がストリーミング配信およびアーカイブ映像に映り込む場合があります。
会 場 日本科学未来館 3階 常設展内ジオ・ステージ
 (東京都江東区青海 2-3-6)
主 催 Björk Digital Tokyo Project
企 画 ビョーク、Dentsu Lab Tokyo、日本科学未来館
協 力 ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル
U R L <http://www.miraikanjst.go.jp/exhibition/bjorkdigital.html>



取材・パフォーマンス・ライブストリーミングに関するお問い合わせ先	チケットに関するお問い合わせ
Dentsu Lab Tokyo E-mail: dentsu-lab-tokyo@dentsu.co.jp	Zeppライブ TEL: 03-5575-5170 午後1時から5時まで
	本リリースに関するお問い合わせ
	日本科学未来館 展示企画開発課 広報普及担当 TEL: 03-3570-9192 / FAX: 03-3570-9150 E-mail: press@miraikanjst.go.jp

〔イベント詳細〕

■ビョークによるパフォーマンス(20:00～)

アルバム「Vulnicura」に収録された音源「Quicksand」(演奏時間約3分45秒)をテーマに、ビョークによる歌のパフォーマンスとその世界観を拡張する新たな映像表現の実験を行います。未来館のシンボル展示の地球ディスプレイ「ジオ・コスモス」を舞台上に、ビョークがMIT メディアラボ ネリ・オックスマン教授が制作したマスクを装着。ライゾマティクスリサーチの開発したAR/VR演出技術を使用しP.I.C.S.の映像制作協力のもと、最新テクノロジーを駆使した演出のなか、ビョークがパフォーマンスを披露します。VR展示プロジェクト「Björk Digital—音楽のVR・18日間の実験」開催にあわせて来日するビョークが、ライブで歌のパフォーマンスを披露する唯一の機会となります。

出演:ビョーク

〔ライブストリーミング配信〕

本パフォーマンスは、過去に例のない360°VR映像として、ライブストリーミング配信されます。360°カメラによるライブ映像は、配信時に最新テクノロジーによる演出を加えることで、音楽を拡張する新たな体験をつくりだします。PCやスマートフォンで鑑賞できます。

※ライブストリーミングは20:00から約5分間を予定しております。トークショーは配信されません。

URL: <http://dentsulab.tokyo/events/20160628/>

■スペシャルトークショー(21:00～)

配信と収録終了後には、本パフォーマンスの制作を担当したメンバーを迎えて、ビョークが日本で初めてトークショーに登壇します。本パフォーマンスの制作秘話やテクノロジーとクリエイティブの可能性などをテーマにトークを繰り広げます。

出演:ビョーク、菅野薫(Dentsu LabTokyo)、真鍋大度(ライゾマティクスリサーチ)、TAKCOM(P.I.C.S. management) (予定)
ファシリテーター:内田まほろ(日本科学未来館)

ビョーク

アイスランド出身のシンガー/ソングライター/プロデューサー/女優。1980年代後半より、ザ・シュガーキューブスのヴォーカルとして活躍し、UK、ヨーロッパを中心にブレイク。1993年にファースト・アルバム「デビュー」でソロ・デビューを果たして以来、2千万枚のアルバム・セールスを誇り、その先鋭的かつ多様なサウンドで世界中の音楽ファンの絶大な支持を受けている。これまで8枚のスタジオ・アルバムに加え、映画サウンドトラック、リミックス盤、ライブ盤などを含め、20作品以上をリリース。これまで、トム・ヨーク、ティンバランド、ベック、アレキサンダー・マックイーン、スパイク・ジョーンズなど、音楽にとどまらず多岐にわたるジャンルの著名人とのコラボレーション歴も誇る。2000年にはミュージカル映画『ダンサー・イン・ザ・ダーク』に主演し、初出演映画にして、カンヌ国際映画祭<パルムドール>賞と<最優秀女優賞>を獲得。

2015年4月にリリースした8作目アルバム「Vulnicura」は全世界24カ国のiTunesチャートで1位を記録し、第58回グラミー賞で<最優秀オルタナティヴ・アルバム>にノミネート。2015年3月には、自身のソロ・キャリアを衣装や映像の展示と共に振り返る大回顧展をニューヨーク現代美術館(MoMA)にて開催。2016年4月には、「Vulnicura」の360°VR映像作品の展示プロジェクト「Björk Digital」をローンチ。



※1 ジオ・プリズム

AR(拡張現実感)技術を用いて、ジオ・コスモスにデータやシミュレーションを重ねて表示できるシステム。CG と複数のカメラからの映像をダイナミックに織り混ぜたデータが、地球上に可視化されます。シンボルゾーンとオーバルブリッジに設置されたタッチスクリーン端末を使って、360 度方向から鑑賞することができます。またジオ・プリズムは、多くの研究者やクリエイターが独自にコンテンツ開発に参加できる設計となっています。



※2 シンボル展示「ジオ・コスモス」

1000 万画素を超える高解像度で、宇宙空間に輝く地球の姿をリアルに映し出す Geo-Cosmos(ジオ・コスモス) は、日本科学未来館のシンボル展示です。有機 EL パネルを使った世界初の「地球ディスプレイ」で、「宇宙から見た輝く地球の姿を多くの人と共有したい」という館長毛利衛の思いから生まれました。画面上を流れる雲の映像は、気象衛星が撮影したデータを毎日とりこんで反映させたもので、リアルな地球の姿を眺めることができます。

発光デバイス: 有機 EL (96mm角パネルが 10,362 枚) / サイズ: 直径約 6m(地球の約 200 万分の 1) / 重さ: 約 13t
画素数: 1,000 万画素以上

〔参考情報〕

VR 展示プロジェクト「Björk Digital —音楽の VR・18 日間の実験」

6 月 29 日(水)～7 月 18 日(月・祝)開催、チケット好評販売中

タイトル	Björk Digital —音楽の VR・18 日間の実験
開催日時	2016 年 6 月 29 日(水)～7 月 18 日(月・祝)午前 10 時～午後 5 時 ※ただし金土日祝(7 月 1 日(金)～3 日(日)、8 日(金)～10 日(日)、15 日(金)～18 日(月・祝))は午後 10 時まで開催
休館日	2016 年 7 月 5 日(火)、12 日(火)
会場	日本科学未来館 7 階 イノベーションホールほか(東京都江東区青海 2-3-6)
料金	2500 円(税込) ※入場日時指定制、整理番号付 ※入場券はチケットぴあ(http://w.pia.jp/t/bjork/)にて販売中 ※展示の中心となる VR コンテンツは 13 歳以上が対象です ※未就学児の入場はできません ※小学生以上は入場券が必要となります ※企画展、常設展、ドームシアター(いずれも午後 5 時まで)の鑑賞には別途料金がかかります ※アーティストの出演はありません
主催	スマッシュコーポレーション
共催	日本科学未来館
協力	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル
詳細	http://www.miraikan.jst.go.jp/exhibition/bjorkdigital.html

「Björk Digital」は、アーティスト・ビョークの音楽と、最先端のテクノロジーの融合により、音楽体験を拡張する実験的な VR の展示プロジェクトです。会場では、世界の映像クリエイターやプログラマーとのコラボレーションにより実現した、日本初公開作品を含むビョークによる新たな VR 作品を、5 つのエリアを通して体験することができます。

独自の世界観と音楽に、先端のテクノロジーを取り入れ、常に新しい表現を実験し続けるビョーク。彼女は、生まれたばかりの VR を、ライブでも CD でも実現できなかった、自分と鑑賞者を親密につなぐツールであり、新しい音楽体験をもたらすシアターだと考えています。

本展「Björk Digital」は、愛する人との別れという、きわめて個人的な感情から生まれたアルバム「Vulnicura」を VR 作品化し、展示しながら、VR と音楽の可能性を探る進行中のプロジェクトです。加えて、自然と音楽の構造や仕組みをテーマに、全曲をアプリ作品化し、現在学校教育にも採用されている「Biophillia」のインタラクティブ体験、さらに、本展のために 5.1ch でリマスターされた、ソロデビューから 26 曲におよぶ歴代 PV をシアター上映します。

彼女は、テクノロジーに心を入れるのがアーティストの仕事であると語ります。20 年以上にわたり、デジタルという人類の新しいツールと独自に向き合うビョークを一望し、新たな挑戦の場に立ち会うことは、アート、人間、テクノロジーの彼方を眺める機会となるでしょう。



©Andrew Thomas Huang